

様式第5号（第2条関係）

平成22年4月27日

大崎市議会議長 三神祐司様

会派等名 改革おおさき

代表者名 代表幹事 加藤善市



平成22年度政務調査費収支報告について

大崎市議会政務調査費の交付に関する条例第8条の規定に基づき、別紙のとおり政務調査費収支報告書を提出します。



(別紙)

平成22年度政務調査費収支報告書

会派等名 改革おおさき

1 収入

政務調査費 240,000円

2 支出

科 目	金 額(円)	備 考
研 究 研 修 費	93,540	市町村議会議員特別セミナー参加に係る経費
調 査 旅 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
広 報 費		
公 聴 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
そ の 他 の 経 費		
合 計	93,540	

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額 146,460円

政務調査活動概要報告書

会派名 改革おおさき

(1) 研修日

平成22年11月4日から 11月5日まで

(2) 研修地

千葉県千葉市花見川区幕張 市町村アカデミー

(3) 研修参加者

加藤 善市・栗田 彰・佐藤 勝

(4) 研修内容

「分権時代の地方議会」 政策研究大学院大学教授 飯尾 潤 氏

「日本の政治の行方」 毎日新聞社論説副委員長 与良 正男氏

「商店街の活性化とまちづくり」高松丸亀町まちづくり(株)取締役
熊 紀三夫氏

「新たな子育て時代を迎えて」恵泉女学園大学大学院教授 大日向 雅美氏

(5) 講演を聴いて

分権時代の地方議会を聴いて最も大切なことは意志決定機関としての役割をしっかりと果たしていく為の議会改革、議員個々の資質の向上、そしてなんと言っても首長との距離の取り方と感じました。

日本の政治の行方を聴いて、自民党から民主党への政権移行により、日本の将来が安定しないと感じました。その大きな要因は実行できない公約と、民主党の安定の無さだと思いました。

商店街の活性化とまちづくりを聴いては、地域の連携と大胆な発想の転換を感じました。市民が商店街に求める要望にどのように答えていくのか、それを克服した丸亀商店会の力強さを大崎にも

新たな子育て時代を迎えてを聴いて、すべての子供に保育サービスの保障が大切と思っただが、地方の一行政で行うことは非常に困難と感じました。そのためにも、民間との役割分担が大切と思います。これまで、子育ては親がするものと思っていましたが、これからは子育ては行政と業者が行うと考えたとき、少し違和感をかんじました。

尚、後期の視察も予定いたしておりましたが、政務調査費は返納いたしました